



＼ タカキパーツの新聞ができました ／



屋山の八柱神社 初詣 (2020 年 1 月 5 日)



地域で愛される会社を目指して

孝木新聞を創刊

大分市坂ノ市西に本社がある有限会社タカキパーツです。この度、自社の企業新聞『孝木（たかき）新聞』を創刊することになりました。弊社の江藤社長より、創刊のご挨拶をさせていただきます。

江藤社長 こんにちは。

代表取締役社長を務めております江藤祥文です。2020年、弊社は創業45周年を迎えます。1975年に私の父であり、現会長の江藤祥一が自動車解体業を始めて以来、リサイクル部品の販売を中心に、新車・中古車販売、自動車の買取りなど、車を軸



代表取締役社長
えとう やすふみ
江藤祥文

にして様々なことにチャレンジしてきました。今年はさらに新たなチャレンジとして、地域の皆様に私たちのことをより知っていただけるように企業新聞を発行することになりました。タカキパーツが、どんな業務を行っていて、どんなスタッフが、どんな想いを持っていて、どんな仕事を行っているのか、こちらの『孝木新聞』に掲載し、皆様と私たちとの架け橋となるようにしていきたいと思っております。新聞は今後、3ヶ月に1回ペースで春夏秋冬の各季節に定期的に発行いたします。何卒よろしくお願いいたします。

新たなチャレンジといえば会社としての方向性を確立するために経営理念を作りました。いつもお世話になっている会計士さんからのすすめもあり、ずっと経営理念を構想しておりましたが、昨年末に完成し、今年の仕事始めには全社員の前で発表しました。

経営理念

私たちタカキパーツ全社員は一つの家族である。

お客様（人）・地域（人）・社員家族（人）
協力業者（人）をつなぐ会社である。

私たちタカキパーツは
最高のファミリー企業になる。

経営理念はこちらです。
私たちタカキパーツ全社員は一つの家族である。お客様（人）・地域（人）・社員家族（人）・協力業者（人）をつなぐ会社である。私たちタカキパーツは最高のファミリー企業になる。
理念を作る上で、色んな方々に相談をしていた時に、「タカキパーツさんはアットホームでファミリー的だね」という言葉が印象深かったので、私たちはファミリーのような絆で一丸となって未来に向かっていこう！という想いを込めました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。（代表取締役社長 江藤祥文）